

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局(43) 国際公開日  
2004 年 7 月 1 日 (01.07.2004)

PCT

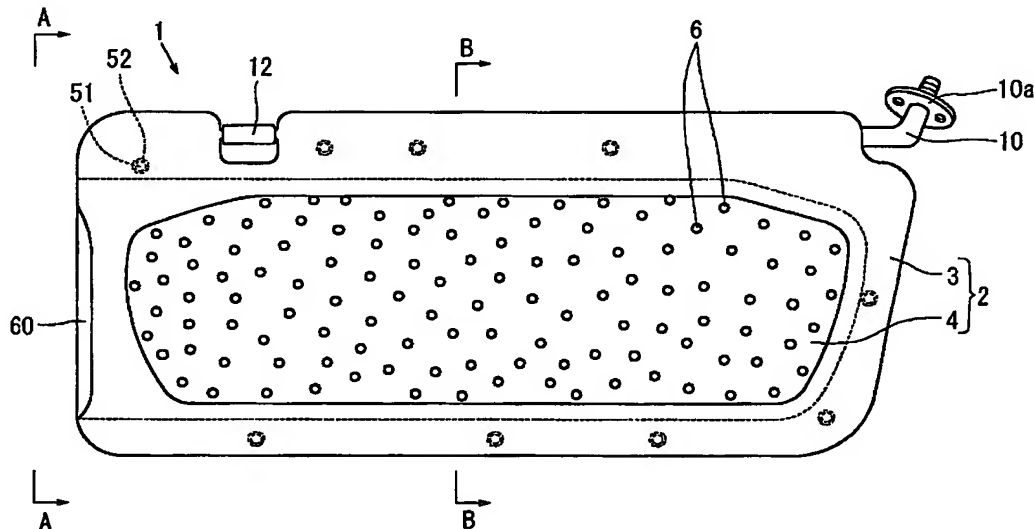
(10) 国際公開番号  
WO 2004/054830 A1

- (51) 国際特許分類: B60J 3/02 [JP/JP]; 〒470-0352 愛知県 豊田市篠原町 切山二丁目 2 4 番地 Aichi (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2003/016051
- (22) 国際出願日: 2003 年 12 月 15 日 (15.12.2003)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:  
特願 2002-364140  
2002 年 12 月 16 日 (16.12.2002) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 共和産業株式会社 (KYOWA SANGYO CO., LTD) [JP/JP]; 〒471-0856 愛知県 豊田市 衣ヶ原 3 丁目 1 番地 Aichi (JP). 新和精工株式会社 (SHINWA SEIKO CO., LTD.)
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 石倉 邦彦 (ISHIKURA, Kunihiko) [JP/JP]; 〒471-0802 愛知県 豊田市志賀町 高洞 1038 番地 7 Aichi (JP). 都築 千尋 (TSUZUKI, Chihiro) [JP/JP]; 〒473-0917 愛知県 豊田市 若林西町上ノ山 127 番地 Aichi (JP).
- (74) 代理人: 岡田 英彦, 外 (OKADA, Hidehiko et al.); 〒460-0008 愛知県 名古屋市中区 栄二丁目 10 番 19 号 名古屋商工会議所ビル Aichi (JP).
- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ,

[続葉有]

(54) Title: SUN VISOR FOR MOTOR VEHICLE

(54) 発明の名称: 車両用サンバイザ



(57) Abstract: A sun visor (1) for a motor vehicle has a sun visor body (2) installed in a vehicle compartment through a support shaft (10). The sun visor main body (2) comprises an outer frame body (3) so formed in a frame shape as to rim the outer periphery of the sun visor body (2), and a plate member (4) so attached as to close an opening window (5) provided through the outer frame body (3) generally at its center. The plate member (4) is attachable/removable by sliding it along a slide groove (8) provided in the outer frame body (3).

(57) 要約: 車両用サンバイザ 1 は、支軸 10 を介して車室内に装着されるサンバイザ本体 2 を備える。サンバイザ本体 2 は、該サンバイザ本体 2 の外周を縁取るように枠状に形成された外枠体 3 と、外枠体 3 の略中央に貫設された開口窓 5 を塞ぐようにして取り付けられるプレート部材 4 を備えている。プレート部材 4 は、外枠体 3 に設けられたスライド溝 8 に沿ってスライド式に取り付けあるいは取り外すことが可能である。

WO 2004/054830 A1



NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

(84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK,

添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

## 明 細 書

## 車両用サンバイザ

## 5 [技術分野]

この発明は、車室内の遮光等を目的として設置される車両用サンバイザに関する。

## [背景技術]

10 従来、車室内の遮光等を目的として設置される車両用サンバイザとして、例えば日本国特許第 1 8 8 8 7 4 6 号に開示された車両用サンバイザが知られている。

日本国特許第 1 8 8 8 7 4 6 号に開示された車両用サンバイザによれば、サンバイザ本体の中央部に種々異なる機能を有する外装パネルを選択的に装着するために、前記サンバイザ本体の両面に開口する開口窓が貫設され、この開口窓の両  
15 開口窓には、これら開口窓を覆蓋する表裏一対の外装パネルと支持パネルとがその相互の対向面に形成された係止突起と係止凹部との弾性係着によって着脱可能に装着される。

このように構成された車両用サンバイザによれば、ミラーが付設された外装パネル、ランプ付ミラーが付設された外装パネル、チケットはさみが付設された外  
20 装パネル等の各種の外装パネルのうち、一つの外装パネルを選択し、その後、サンバイザ本体の開口窓の両開口窓の両側から、前記選択された外装パネルと支持パネルとを嵌込んで、これら両パネルを、相互の係止突起と係止凹部との弾性係着によって着脱可能に装着することで、種々異なる車両用サンバイザを得ることができるようになっている。

25 しかしながら、上記従来の車両用サンバイザによれば、外装パネルを交換する際に手間を要するという問題があった。すなわち、サンバイザ本体に対する外装パネルの着脱作業は、支持パネルと外装パネルとの相互の対向面に形成された係止突起と係止凹部との弾性係着によって行われるため、その際に、支持パネルと外装パネルとによってサンバイザ本体を挟み込む作業が必要であり、さらに、目

に見えない位置にある係止突起と係止凹部とを位置合わせする作業が大変手間であるという問題があった。

本発明はこのような問題に鑑みてなされたものであり、サンバイザ本体の一部を着脱可能にすることで機能や意匠などを自在に変更でき、かつ、そのサンバイザ本体の一部を着脱する際の作業が極めて簡単になる車両用サンバイザを提供することを目的とする。

#### [発明の開示]

上記課題を解決するための本発明は、支軸を介して車室内に装着される外枠体と、前記外枠体の略中央に貫設された開口窓を塞ぐ位置に着脱可能に取り付けられるプレート部材と、を備えてサンバイザ本体が構成されている車両用サンバイザであって、前記外枠体には、前記プレート部材をスライド式に取り付けるためのスライド構造が設けられていることを特徴とする車両用サンバイザである。この車両用サンバイザによれば、外枠体に取り付けられたプレート部材を、それとは異なる図柄や模様、色彩等が施された別のプレート部材に容易に交換することができる。また、外枠体に取り付けられたプレート部材を、カードホルダやパンチング孔等の付属的な機能が備えられた別のプレート部材に容易に交換することができる。また、前記プレート部材は、外枠体の略中央に設けられた開口窓を塞ぐようにして装着されるので、サンバイザ本体の表面側及び裏面側からの見た目（意匠）を同時に変更することができる。この車両用サンバイザによれば、使用者の好みや目的等に合わせて、車両用サンバイザの機能や見た目を容易に変更することが可能になる。

本発明の車両用サンバイザにおいて、プレート部材を取り付けるためのスライド構造は、外枠体の側部に設けられた挿入口と、前記挿入口より挿入されるプレート部材の外周部を保持することのできるスライド溝と、によって構成される。このようにすれば、プレート部材の一端を挿入口から挿入するだけで、外枠体に対するプレート部材の取り付けを簡単に行うことができる。

本発明の車両用サンバイザにおいて、外枠体の側部に設けられた挿入口にはカバー蓋が設けられるとともに、前記プレート部材の移動が前記カバー蓋によって

規制される構成とされるのが好ましい。このようにすれば、前記挿入口からのプレート部材の脱落を防止できるだけでなく、開口窓を塞ぐ位置に取り付けられたプレート部材の位置ズレを防止することができる。

上記課題を解決するための本発明は、支軸を介して車室内に装着される外枠体  
5 と、前記外枠体の略中央に貫設された開口窓を塞ぐ位置に着脱可能に取り付けられるプレート部材と、を備えてサンバイザ本体が構成されている車両用サンバイザであって、前記外枠体及び前記プレート部材には、相互の嵌合により前記外枠体に対する前記プレート部材の着脱を可能とするための凹部及び凸部がそれぞれ設けられていることを特徴とする車両用サンバイザである。したがって、外枠体  
10 に取り付けられたプレート部材を、それとは異なる図柄や模様、色彩等が施された別のプレート部材に容易に交換することができる。また、外枠体に取り付けられたプレート部材を、カードホルダや透視孔等の付属的な機能が備えられた別のプレート部材に容易に交換することができる。また、プレート部材は、外枠体の略中央に設けられた開口窓を塞ぐようにして装着されるので、サンバイザ本体の  
15 表面側及び裏面側からの見た目（意匠）を同時に変更することができる。これにより、使用者の好みや目的等に合わせて車両用サンバイザの機能や見た目を容易に変更することができる。さらに、前記外枠体及び前記プレート部材には、相互の嵌合により前記外枠体に対する前記プレート部材の着脱を可能とするための凹部及び凸部がそれぞれ設けられているので、外枠体からのプレート部材の取り付け及び取り外しが極めて容易になる。  
20

本発明の車両用サンバイザにおいて、プレート部材は、意匠（デザイン）を施したシート材の片面もしくは両面に透明板を配設して構成される。ここでいう「シート材」とは、図柄や模様、色彩等を施すことができる紙、布、樹脂フィルム等の薄いシート状の部材のことである。このシート材の片面もしくは両面には透明  
25 板が配設される。したがって、そのシート材の表面に施された図柄や模様などを透明板を介して視認することが可能である。また、透明板が配設されることによって、シート材に施された図柄や模様を、外部からの熱や摩擦等から保護することが可能になる。さらに、車両用サンバイザの意匠を変更する場合には、透明板はそのまま同じものを利用して、紙等で構成されたシート材のみを交換すればよ

いので極めて安価である。

本発明の車両用サンバイザにおいて、プレート部材は、半透明板もしくは多孔板で構成されるのが好ましい。半透明板もしくは多孔板は光を透過するので、プレート部材を交換することによって、車室外から射し込む光の透過度を調整することが可能になる。

#### [図面の簡単な説明]

図 1 は、第 1 の実施の形態における車両用サンバイザの外観を示す正面図である。

図 2 は、外枠体に設けられたスライド溝に沿ってプレート部材を取り付ける際の状態を示す正面図である。

図 3 は、図 1 における車両用サンバイザの A-A 線矢視側面図である。

図 4 は、図 1 における車両用サンバイザの B-B 線矢視断面図である。

図 5 は、積層状に構成したプレート部材の斜視図である。

図 6 は、第 2 の実施の形態における車両用サンバイザの外観を示す正面図である。

図 7 は、図 6 における車両用サンバイザのプレート部材の正面図である。

図 8 は、図 6 における車両用サンバイザの C-C 線矢視断面図である。

図 9 は、図 6 における車両用サンバイザの D-D 線矢視断面図である。

図 10 は、外枠体に対してプレート部材を取り付ける際の状態を示す断面図である。

図 11 は、カバー蓋が設けられていない車両用サンバイザの外観を示す正面図である。

#### [発明を実施するための最良の形態]

##### [第 1 の実施の形態]

以下、本発明の第 1 の実施の形態を図面にしながら説明する。

図 1 は、第 1 の実施の形態における車両用サンバイザ 1 の外観を示す正面図である。図 2 は、外枠体 3 に設けられたスライド溝 8 に沿ってプレート部材 4 を取り付ける際の状態を示す正面図である。図 3 は、図 1 における車両用サンバイザ 1 の A-A 線矢視側面図である。図 4 は、図 1 における車両用サンバイザ 1 の B

ーB線矢視断面図である。図5は、積層状に構成したプレート部材4の斜視図である。

図1に示すように、本実施の形態に係る車両用サンバイザ1は、車室内に差し込む日光等を遮光するサンバイザ本体2を主体として構成されている。このサンバイザ本体2は、略L字型に形成された支軸10によって車室天井面に取り付けられる。すなわち、支軸10の基端部は、取付用ブラケット10aを介して車室天井面の所要箇所に固定される。支軸10の先端部は、サンバイザ本体2の内部に配設された金属製の軸受部材(図示しない)に回動可能な状態で差し込まれる。これにより、サンバイザ本体2は支軸10によって略水平に支持されるとともに、支軸10の軸周りに回動操作されることによって、車室天井面に沿った格納位置と、車両のフロントガラスに沿った遮光位置とに配置切換されるようになっている。また、サンバイザ本体2の左端側の上端部にはサポート軸12が設けられている。このサポート軸12は、車室内に固定された図示しない合成樹脂製の掛け止め用フックに回動可能な状態で掛け止めされる。

図1及び図2に示すように、サンバイザ本体2は、該サンバイザ本体2の外周を縁取るようにして環状に形成された外枠体3と、該外枠体3の略中央に貫設された開口窓5を塞ぐようにして着脱可能に取り付けられるプレート部材4とを備えている。

外枠体3は、図4に示すように、サンバイザ本体2を遮光位置に降ろしたときに車室内側に配置する表面側の分割体3aと、サンバイザ本体2を遮光位置に降ろしたときにフロントガラス側に配置する裏面側の分割体3bとによって二分割に構成されている。表面側及び裏面側の分割体3a、3bは、例えばポリプロピレン等の硬質の熱可塑性樹脂によりそれぞれ枠状に射出成形されたものであり、それぞれの部材の内面に設けられたピン部51及びボス部52の嵌め合いにより相互に結合されている。

プレート部材4は、図1、図2、図4に示すように、ポリプロピレン(PP)、ポリカーボネート(PC)、ポリメチルメタクリレート(PMMA)等の硬質の熱可塑性合成樹脂が薄板状に成形されたもの、あるいは、例えば鉄やアルミニウム等の金属が薄板状に形成されたものである。プレート部材4の全面には、該プレ

ート部材 4 を厚み方向に貫通する略円形の透視孔 6 がほぼ一定の間隔毎に複数設けられている。車室内に腰掛けた乗員等は、プレート部材 4 により光の眩しさがある程度軽減しつつ、この透視孔 6 を通して車室外の様子を視認することができるようになっている。この透視孔 6 が設けられたプレート部材 4 が、本発明における「多孔板」に対応している。

図 2 に示すように、外枠体 3 の側面には、プレート部材 4 の一端を挿入することのできる挿入口 7 が設けられている。プレート部材 4 の一端をこの挿入口 7 に挿入すると、図 4 に示すように、開口窓 5 の外周に凹状に設けられたスライド溝 8 に沿ってプレート部材 4 が差し込まれるようになっている。これにより、プレート部材 4 の外周部はスライド溝 8 に沿って左右の方向に（図 2 中の矢印 G の方向に）スライド可能な状態で保持される。外枠体 3 に対するプレート部材 4 の取り付け及び取り外しの作業は、このスライド溝 8 に沿ったプレート部材 4 のスライド操作のみによって容易に行えるようになっている。外枠体 3 の側面に設けられた挿入口 7、及び、開口窓 5 の外周に凹状に形成されたスライド溝 8 を合わせたものが、本発明における「スライド構造」に対応している。

なお、プレート部材 4 の引出し側の一端に対して指をかけるための凸部等を形成しておけば、車両の乗員等はこの凸部に指をかけることで該プレート部材 4 のスライド操作を容易に行うことができる。これにより、外枠体 3 に対するプレート部材 4 の着脱作業がより簡単に行えるという効果がある。

また、図 1 ～図 3 に示すように、外枠体 3 の側面に設けられた挿入口 7 には、該挿入口 7 に挿入されて開口窓 5 を塞ぐ位置に装着されたプレート部材 4 の脱落を防止するためのカバー蓋 60 が設けられている。このカバー蓋 60 は、挿入口 7 に挿入されてプレート部材 4 の側面に当接する挿入部 61 を有しており、開口窓 5 を塞ぐ位置に装着されたプレート部材 4 の左右方向への移動がこの挿入部 61 によって規制される。これにより、例えば車両の走行中などに、開口窓 5 を塞ぐプレート部材 4 が左右方向にずれてしまうことを防止することができる。

上記で説明した車両用サンバイザ 1 によれば、サンバイザ本体 2 の一部であるプレート部材 4 の取り付け及び取り外しが容易であるので、サンバイザ本体 2 の意匠を自由に変更することができる。例えば、異なる図柄や模様、色彩等の意匠



(デザイン) が施されたプレート部材 4 を複数枚準備しておけば、プレート部材 4 を交換するのみで車両用サンバイザ 1 の意匠を様々に変化させることができる。この場合、使用者の好み等に応じて車両用サンバイザ 1 の外観をアレンジすることができるので、車両用サンバイザ 1 の商品価値が飛躍的に高まる効果がある。

- 5      また、上記で説明した車両用サンバイザ 1 によれば、プレート部材 4 を取り替えることで光の透過度を変更することができる。例えば、複数の透視孔 6 が全面に設けられたプレート部材 4 と (図 1, 2 参照)、透視孔 6 がまったく設けられていないプレート部材 4 とを予め準備しておけば、これらのプレート部材 4 を相互に交換して用いることにより、乗員の使用目的等に応じて車室外から差し込む光
- 10    の透過度を調整することが可能になる。例えば、車室外からの日差しが強いために、車両の乗員が過度の眩しさを感じる場合には、透視孔 6 が設けられていないプレート部材 4 を外枠体 3 に取り付けることで、より高い遮光性を確保することができる。反対に、車室外からの日光等を遮光しつつも、車両の乗員が車室外の交通状況等をよりよく視認して把握したい場合には、透視孔 6 が全面に設けられ
- 15    たプレート部材 4 を外枠体 3 に取り付けることで、より高い視認性を確保することができる。

- また、プレート部材 4 を、例えばアクリル樹脂等の透明板あるいは半透明板で構成すれば、乗員の使用目的等に応じて車室外からの光の透過度をより柔軟に調整することができる。また、プレート部材 4 を透明板あるいは半透明板により構成
- 20    することで、見た目にも斬新な車両用サンバイザ 1 を実現することができる。

- また、上記で説明した車両用サンバイザ 1 において、例えば図 5 に示すようなプレート部材 4 a を用いることができる。図 5 に示すプレート部材 4 a は、表面に図柄や模様、色彩等が施された第 1 のシート材 1 4 と、その第 1 のシート材 1 4 の下面側に配設される第 2 のシート材 1 5 と、第 1 のシート材 1 4 及び第 2 の
- 25    シート材 1 5 の表面側及び裏面側を挟むようにして積層状に配設される 2 枚の透明板 1 6, 1 7 によって構成される。

第 1 のシート材 1 4 及び第 2 のシート材 1 5 は、表面に図柄や模様、色彩等を施すことができる紙、布、樹脂フィルム等の薄いシート状の部材で構成されている。2 枚の透明板 1 6, 1 7 は、例えばアクリル樹脂等で形成された透明板で構

成されている。第1のシート材14、第2のシート材15、及び2枚の透明板16、17が積層して構成されるプレート部材4aを用いれば、第1のシート材14もしくは第2のシート材15を交換するのみで、車両用サンバイザ1の表面側もしくは裏面側の意匠を容易に変更することができる。例えば、写真等が印刷された第1のシート材14を複数枚準備しておけば、使用者の気分や好みに応じて、第1のシート材14を交換するだけで車両用サンバイザ1の表面側の意匠を容易に変更することができる。

また、プレート部材4aは、外枠体3の略中央に設けられた開口窓5を塞ぐ位置に取り付けられる。したがって、第1のシート材14を交換すれば、車両用サンバイザ1の表面側の意匠に変化を与えることができる。また、第2のシート材15を交換すれば、車両用サンバイザ1の裏面側の意匠に変化を与えることができる。さらに、プレート部材4aによれば、第1のシート材14及び第2のシート材15を交換することによって、車両用サンバイザ1の表面側及び裏面側の意匠を同時に変更することもできる。

また、2枚の透明板16、17の間に配設された第1のシート材14の表面に製品使用上の安全警告表示（いわゆるコーション表示と呼ばれるもの）を印刷することができる。あるいは、第1のシート材14の表面に安全警告表示を印刷したシール等を貼り付けることもできる。この場合、第1のシート材14の表面には透明板16が配設されているので、印刷した安全警告表示が熱や摩擦等の外因によってかすれてしまったり、消えてしまったりすることを効果的に防ぐことができる。

なお、上記第1の実施の形態では、プレート部材4を挿入するための挿入口7に対してカバー蓋60が設けられている車両用サンバイザ1の例を示したが、挿入口7には必ずしもこのカバー蓋60が設けられている必要はない。例えば、図11に示すように、外枠体3の側面に挿入口7だけを設けて、その挿入口7にはカバー蓋60が設けられていない車両用サンバイザ1であっても、外枠体3に対するプレート部材4の取り付け及び取り外しの作業が容易になる。

〔第2の実施の形態〕

以下、本発明の第 2 の実施の形態を図面にしたがって説明する。

図 6 は、第 2 の実施の形態に係る車両用サンバイザ 3 1 の外観を示す正面図である。図 7 は、図 6 における車両用サンバイザ 3 1 のプレート部材 3 4 の正面図である。図 8 は、図 6 における車両用サンバイザ 3 1 の C-C 線矢視断面図である。図 9 は、図 6 における車両用サンバイザ 3 1 の D-D 線矢視断面図である。図 10 は、外枠体 3 3 に対してプレート部材 3 4 を取り付け際の状態を示す断面図である。

図 6 に示すように、本実施の形態に係る車両用サンバイザ 3 1 は、車室内に差し込む日光等を遮光するサンバイザ本体 3 2 を主体として構成されている。サンバイザ本体 3 2 は、該サンバイザ本体 3 2 の外周を縁取るようにして枠状に形成された外枠体 3 3 と、該外枠体 3 3 の略中央に形成された開口窓 3 5 を塞ぐようにして着脱可能に取り付けられるプレート部材 3 4 とを備えている。

外枠体 3 3 は、図 8 に示すように、サンバイザ本体 3 2 を遮光位置に降ろしたときに車室内側に配置する表面側の分割体 3 3 a と、サンバイザ本体 3 2 を遮光位置に降ろしたときにフロントガラス側に配置する裏面側の分割体 3 3 b とによって二分割に構成されている。表面側及び裏面側の分割体 3 3 a, 3 3 b は、例えばポリプロピレン等の硬質の熱可塑性樹脂がそれぞれ枠状に射出成形されたものであり、それぞれの部材の内面に設けられたピン部 5 1 及びボス部 5 2 の嵌め合いにより相互に結合されている。

プレート部材 3 4 は、ポリプロピレン (PP), ポリカーボネート (PC), ポリメチルメタクリレート (PMMA) 等の硬質の熱可塑性合成樹脂が薄板状に成形されたものである。図 7、図 9、図 10 に示すように、プレート部材 3 4 の上端部及び下端部には、開口窓 3 5 の上端及び下端付近に設けられた凹部 3 7 a, 3 7 b に嵌合する凸部 3 6 a, 3 6 b がそれぞれ設けられている。

外枠体 3 3 に対してプレート部材 3 4 を取り付け際には、図 10 に示すように、開口窓 3 5 の下端付近に設けられた凹部 3 7 b に対して、プレート部材 3 4 の下端部に設けられた凸部 3 6 b を斜め上方から挿入する。凹部 3 7 b には、弾性的に伸縮可能なゴム部材 3 8 b が詰め込まれており、凸部 3 6 b によってこのゴム部材 3 8 b を上方から押し縮めながら、上端側に設けられた凸部 3 6 a を凹

部 3 7 a に向けて挿入する。これにより、凹部 3 7 a, 3 7 b に挿入されたゴム部材 3 8 a, 3 8 b からの弾性力がプレート部材 3 4 の上下に対して作用するので、該プレート部材 3 4 が開口窓 3 5 を塞いだ状態でしっかりと固定される。

これとは反対に、プレート部材 3 4 を外枠体 3 3 から取り外す際には、プレート部材 3 4 を取り付ける際の作業と反対の手順を実行すればよい。

また、プレート部材 3 4 には、図 6 や図 9 に示すように、クレジットカードやプリペイドカード等の各種のカード類 H を保持しておくことのできるカードホルダー 4 0 が設けられている。このカードホルダー 4 0 は、プレート部材 3 4 の表面から突出して形成された保持片 4 1 を備えており、この保持片 4 1 とプレート部材 3 4 の表面との間にカード類 H を上方から差し込むことができる。

以上に説明したように、第 2 の実施の形態に係る車両用サンバイザ 3 1 によれば、凸部 3 6 a, 3 6 b と凹部 3 7 a, 3 7 b との相互の嵌め合いによってプレート部材 3 4 の着脱(取り付け及び取り外し)を極めて容易に行うことができる。したがって、異なる図柄や模様等が施された複数枚のプレート部材 3 4 を予め準備しておけば、プレート部材 3 4 を交換するだけで車両用サンバイザ 3 1 の意匠を容易に変更することができる。

また、プレート部材 3 4 に対して、例えばカードホルダー 4 0 などの付属的な機能を持たせることができる。したがって、異なる機能を備えるプレート部材 3 4 を複数枚準備しておけば、プレート部材 3 4 を交換するだけで車両用サンバイザ 3 1 の機能を容易に変更することができる。例えば、カードホルダー 4 0 の他、バニティミラー(化粧用鏡)やマップランプなどの異なる機能部品が備えられたプレート部材 3 4 を予め複数種類準備しておけば、乗員の使用目的等に合わせて車両用サンバイザ 3 1 の機能を容易に変更することが可能になる。

なお、第 2 の実施の形態における車両用サンバイザ 3 1 でも、第 1 の実施の形態における車両用サンバイザ 1 と同様に、多孔板、半透明板等により構成されるプレート部材、あるいは、意匠を施したシート材の表面に透明板を配設した多層構造のプレート部材等を適用することができる。

本発明は、上述した第 1 の実施の形態及び第 2 の実施の形態に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲内で適宜変更することが可能である。

上記実施の形態では、サンバイザ本体が主に熱可塑性合成樹脂の射出成形により製造される例を示したが、その他にも種々の方法で製造されたサンバイザ本体に対して本発明を適用できる。例えば、熱可塑性合成樹脂のブロー成形、ビーズ発泡成形等により製造されたサンバイザ本体に対して本発明を適用できる。また、

5 サンバイザ本体の材料は熱可塑性合成樹脂に限定されず、ゴムや金属などのその他の材料で製造される場合であっても本発明を適用することができる。

また、上記実施の形態では、車両のフロントガラスからの光を遮光するための車両用サンバイザの例を示したが、例えばサイドガラスからの光を遮光するための車両用サンバイザに対しても本発明を適用できる。

## 請 求 の 範 囲

1. 支軸を介して車室内に装着される外枠体と、前記外枠体の略中央に貫設された開口窓を塞ぐ位置に着脱可能に取り付けられるプレート部材と、を備えてサン  
5 パイザ本体が構成されている車両用サンパイザであって、

前記外枠体には、前記プレート部材をスライド式に取り付けるためのスライド構造が設けられていることを特徴とする車両用サンパイザ。

2. 請求項 1 に記載の車両用サンパイザであって、

前記スライド構造は、外枠体の側部に設けられた挿入口と、該挿入口より挿入  
10 されるプレート部材の外周部を保持することのできるスライド溝と、によって構成されていることを特徴とする車両用サンパイザ。

3. 請求項 2 に記載の車両用サンパイザであって、

前記挿入口にはカバー蓋が設けられており、プレート部材の移動が前記カバー蓋によって規制される構成にしてある車両用サンパイザ。

15 4. 支軸を介して車室内に装着される外枠体と、前記外枠体の略中央に貫設された開口窓を塞ぐ位置に着脱可能に取り付けられるプレート部材と、を備えてサンパイザ本体が構成されている車両用サンパイザであって、

前記外枠体及び前記プレート部材には、相互の嵌合により前記外枠体に対する前記プレート部材の着脱を可能とするための凹部及び凸部がそれぞれ設けられて  
20 いることを特徴とする車両用サンパイザ。

5. 請求項 1 から請求項 4 のうちいずれか 1 項に記載の車両用サンパイザであって、前記プレート部材は、意匠を施したシート材の片面もしくは両面に透明板を配設して構成されていることを特徴とする車両用サンパイザ。

6. 請求項 1 から請求項 4 のうちいずれか 1 項に記載の車両用サンパイザであって、前記プレート部材は、半透明板もしくは多孔板で構成されていることを特徴  
25 とする車両用サンパイザ。

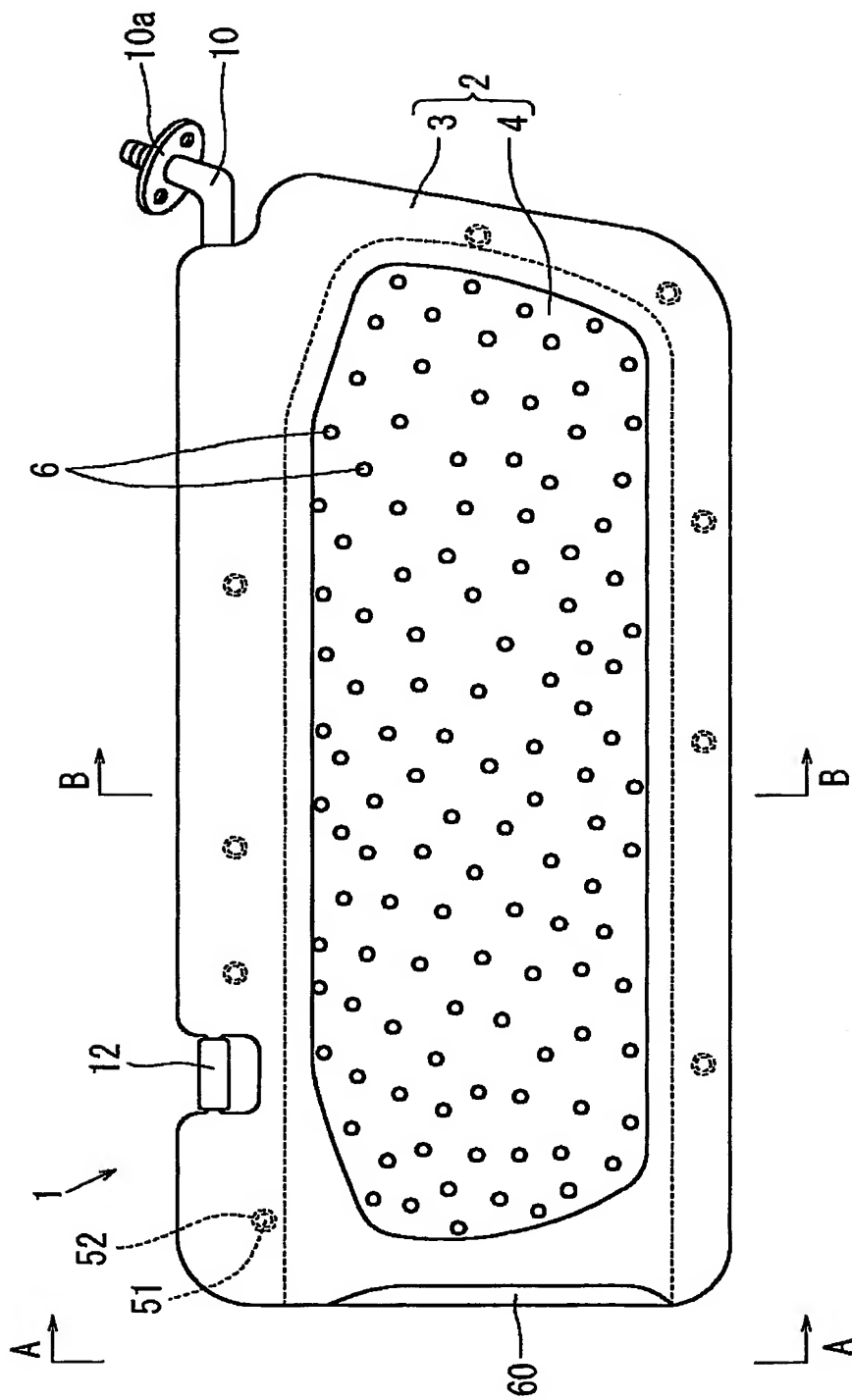


FIG. 1

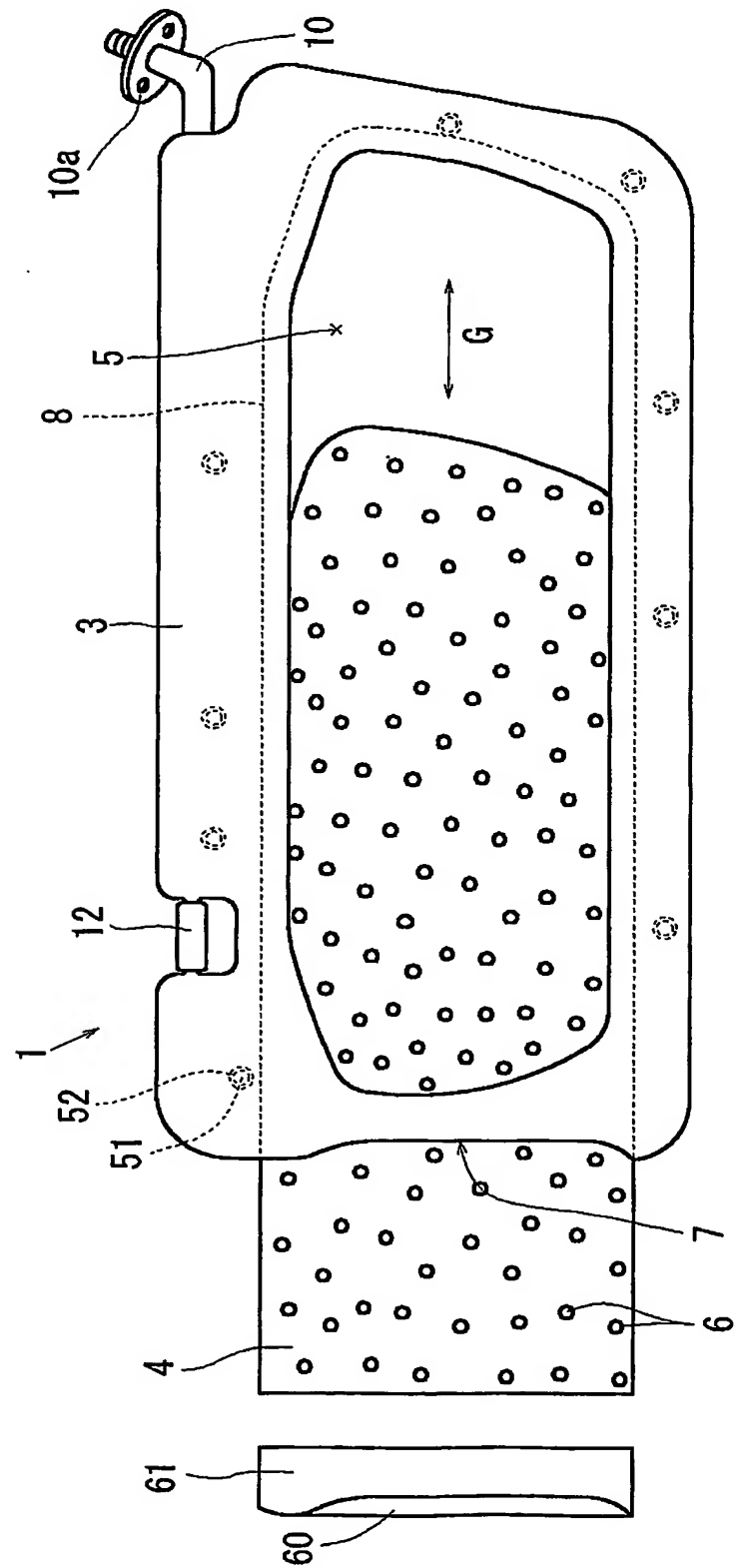


FIG. 2



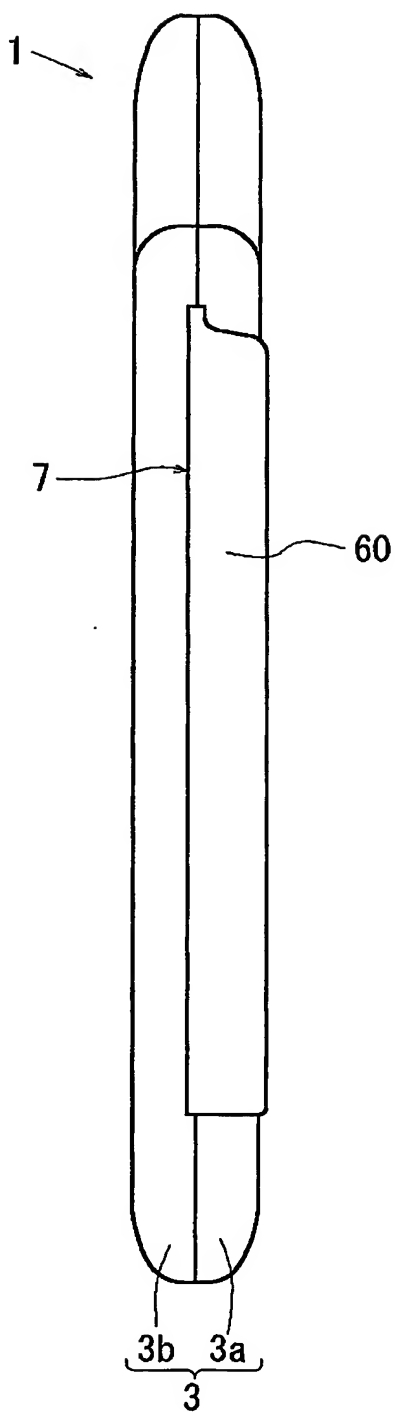


FIG. 3

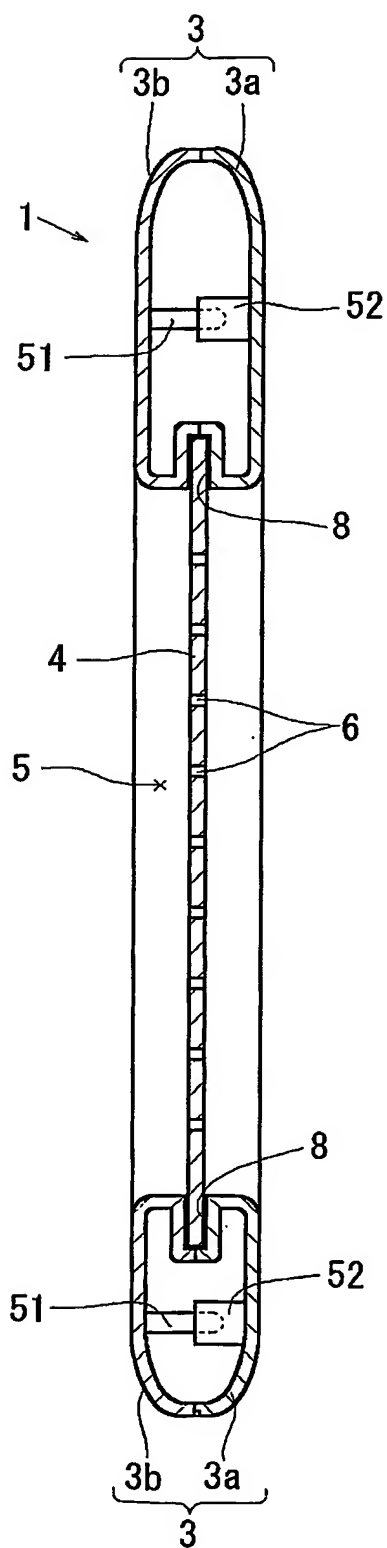


FIG. 4

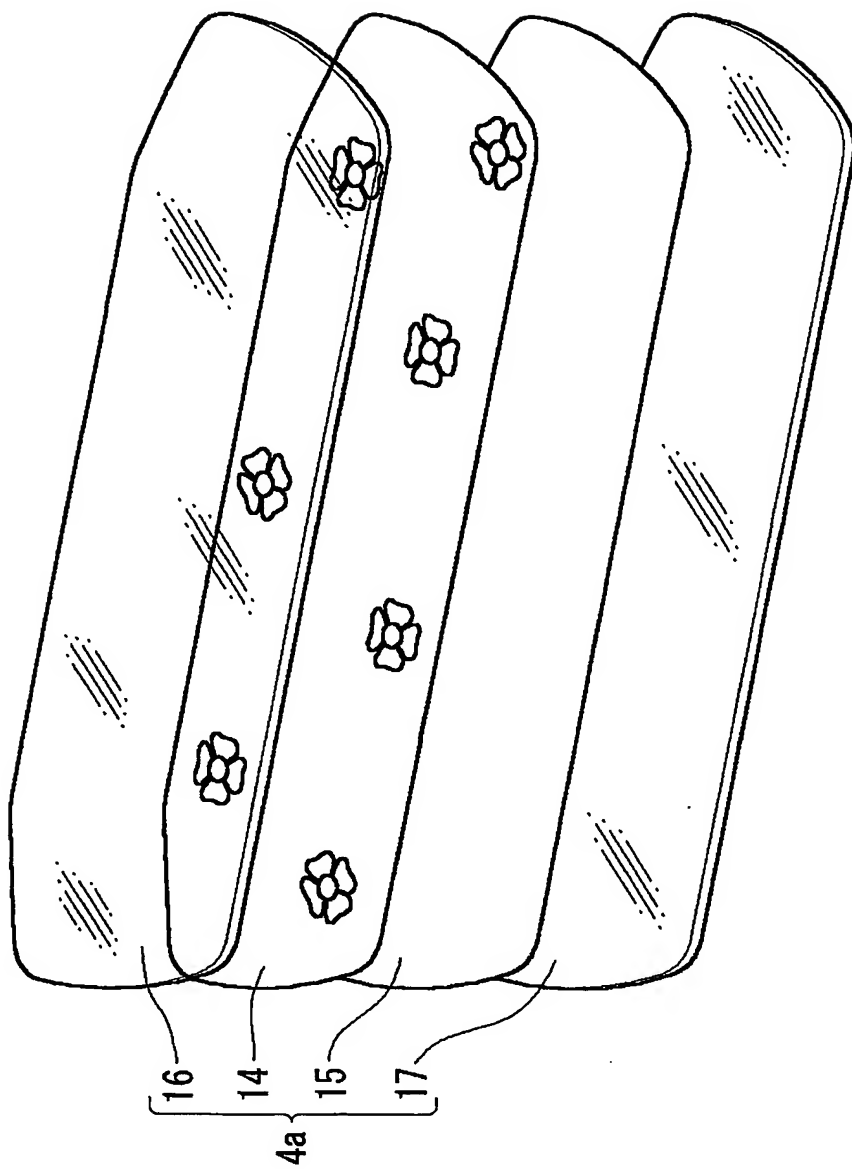


FIG. 5

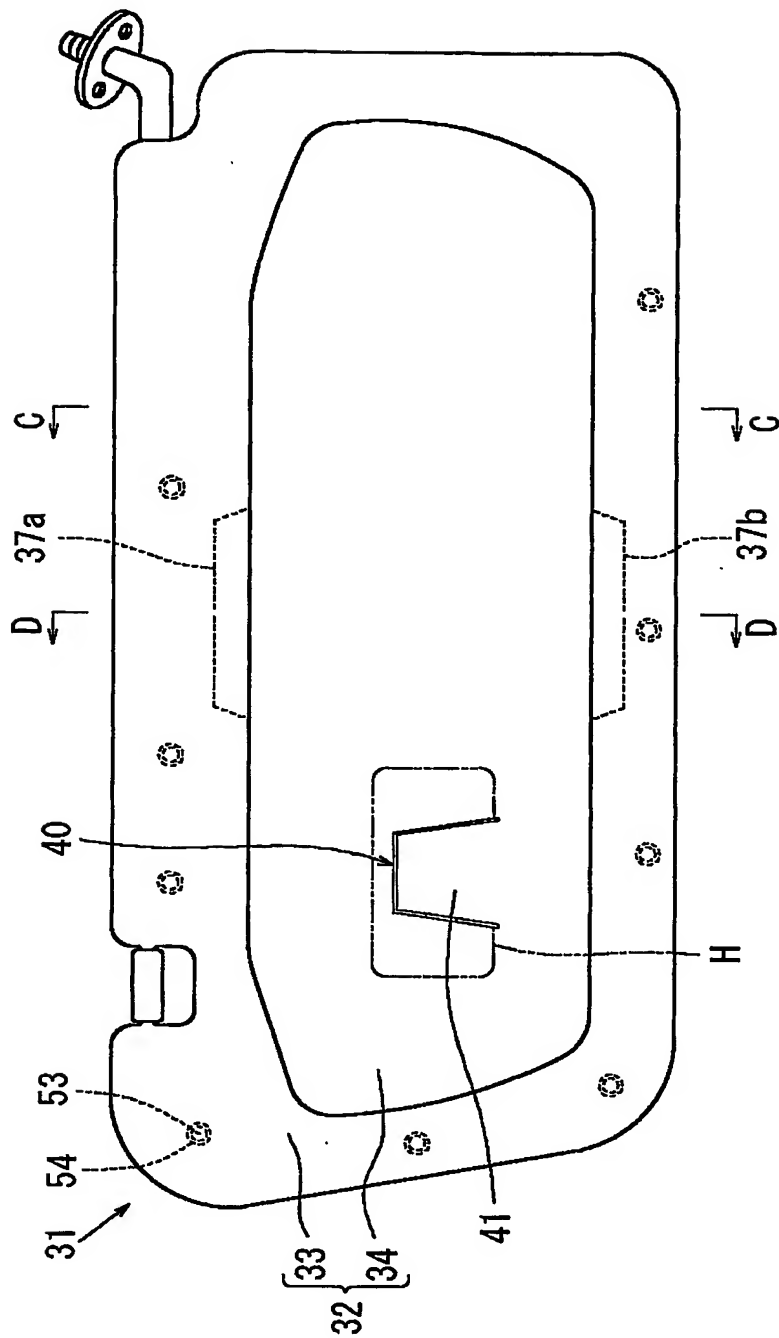


FIG. 6

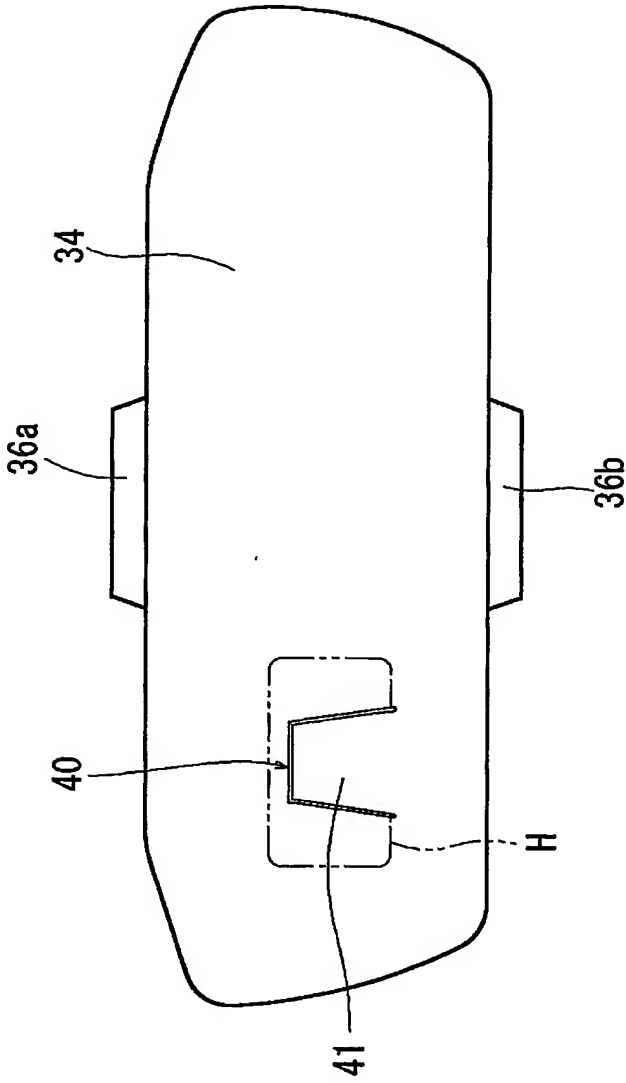


FIG. 7

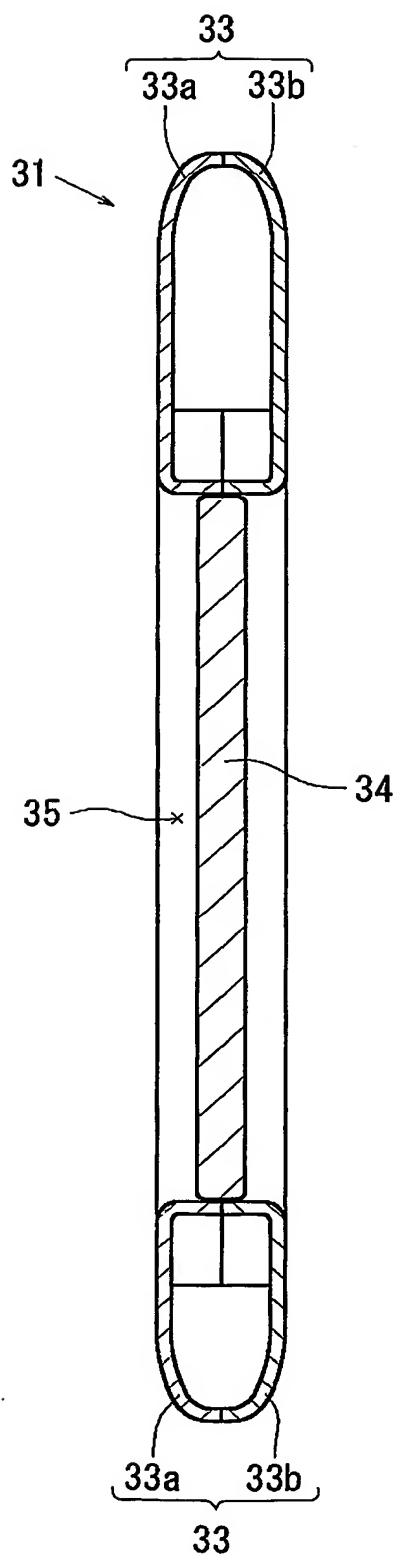


FIG. 8

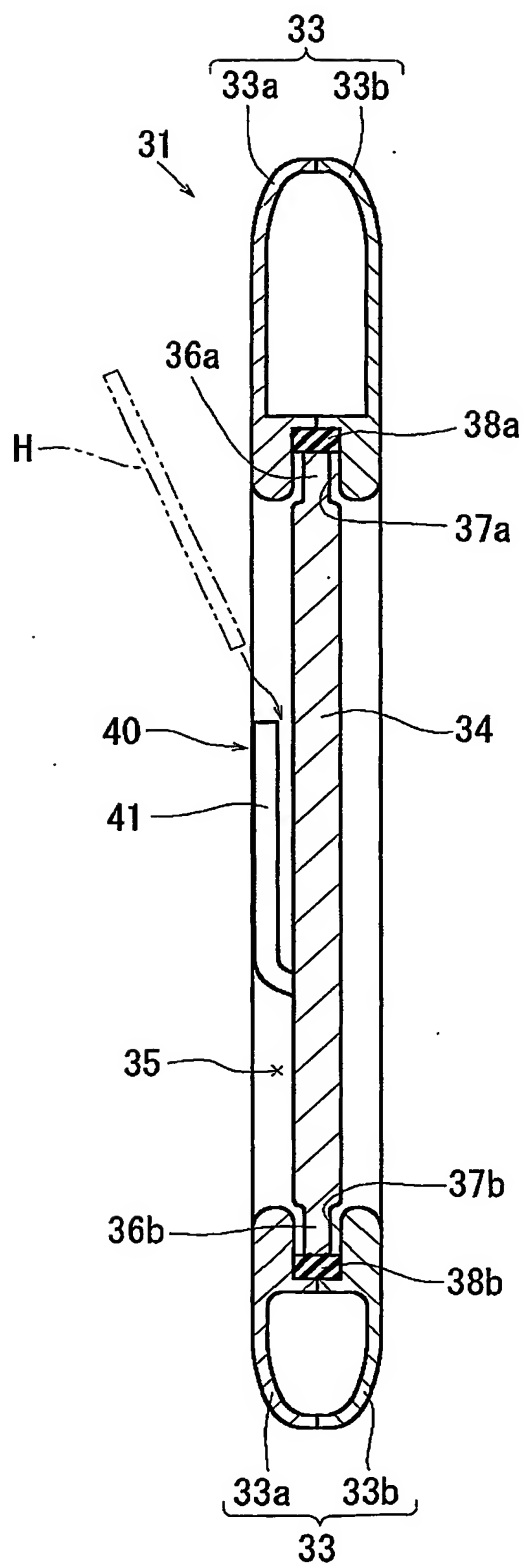


FIG. 9

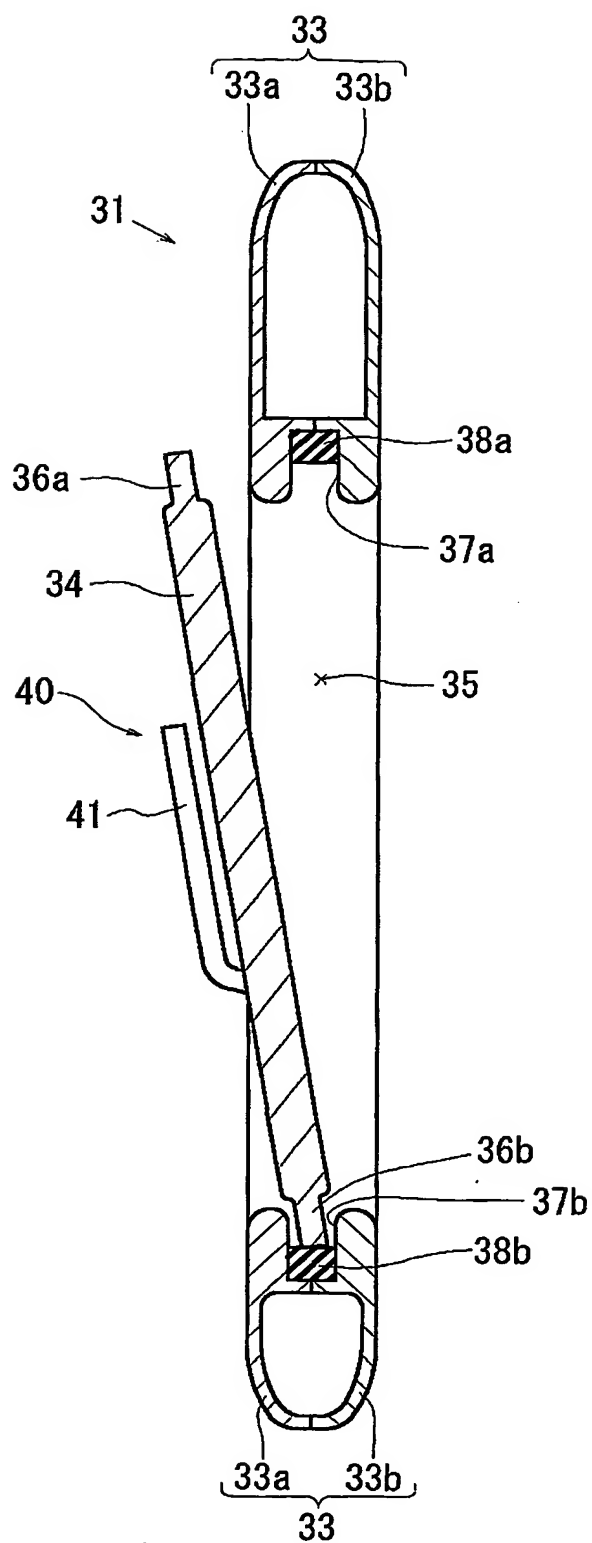


FIG. 10



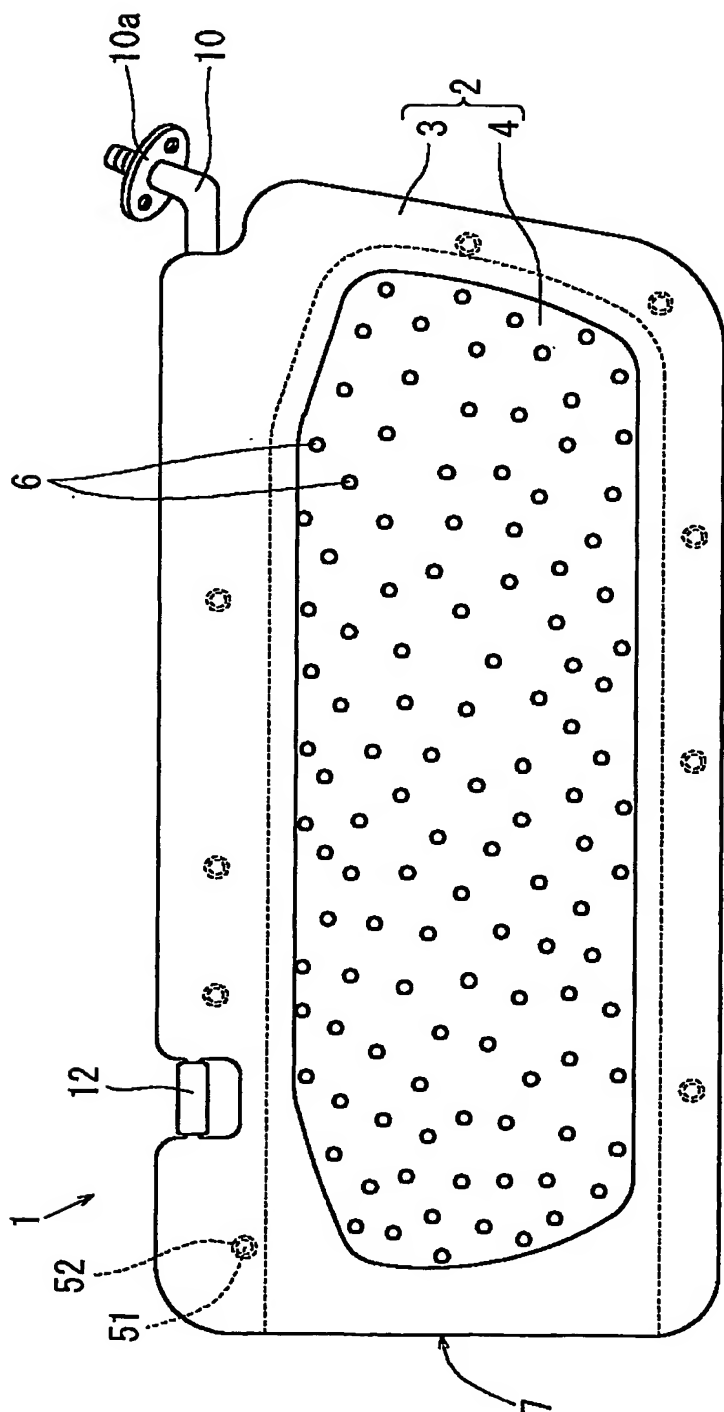


FIG. 11

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP03/16051

## A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl<sup>7</sup> B60J3/02

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)  
Int.Cl<sup>7</sup> B60J3/02

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2003
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2003	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2003

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2002-2278 A (Kabushiki Kaisha Neokkusu Rabo), 08 January, 2002 (08.01.02), Full text; Figs. 1 to 6 (Family: none)	1-6
A	JP 2002-240556 A (Kasai Kogyo Co., Ltd.), 28 August, 2002 (28.08.02), Full text; Figs. 1 to 25 (Family: none)	1-6
A	JP 9-315149 A (Yasuyuki KATO), 09 December, 1997 (09.12.97), Full text; Figs. 1 to 2 (Family: none)	1-6

☐

Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐

See patent family annex.

\* Special categories of cited documents:

- "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
- "E" earlier document but published on or after the international filing date
- "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
- "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
- "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

- "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
- "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
- "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
- "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search  
09 February, 2004 (09.02.04)

Date of mailing of the international search report  
24 February, 2004 (24.02.04)

Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))  
Int. Cl<sup>7</sup> B60J3/02

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))  
Int. Cl<sup>7</sup> B60J3/02

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2003年
日本国登録実用新案公報	1994-2003年
日本国実用新案登録公報	1996-2003年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	JP 2002-2278 A (株式会社ネオックスラボ) 2002.01.08, 全文, 第1-6図 (ファミリーなし)	1-6
A	JP 2002-240556 A (河西工業株式会社) 2002.08.28, 全文, 第1-25図 (ファミリーなし)	1-6
A	JP 9-315149 A (加藤靖之) 1997.12.09, 全文, 第1-2図 (ファミリーなし)	1-6

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

\* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの  
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの  
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)  
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献  
「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの  
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの  
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの  
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日 09.02.2004

国際調査報告の発送日 24.2.2004

国際調査機関の名称及びあて先  
日本国特許庁 (ISA/JP)  
郵便番号100-8915  
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)  
黒瀬 雅一  
3D 8508  
電話番号 03-3581-1101 内線